BOOK DESIGN

Shunichi Mamura Art Works

本のカバー・表紙のデザインや、紙の素材などを決める工程「装幀」。装幀は、本の第一印象を決定する重要な役割を担っています。今回の本の寺子屋は、装幀家の間村俊一さんをお迎えし、装幀の魅力や、醍醐味についてお話しいただきます。
装幀作品の展示会も同時開催します。

間村俊一装幀展 「彼方の本」

2016年11月1日〈火〉→ 11月27日〈日〉
塩尻市立図書館本館　1階　展示コーナー
平日：10:00-20:00 土曜：9:30-20:00 日祝：9:30-18:00　水曜休館
入場無料

講演会 「装幀の種」（要申し込み）

2016年11月13日〈日〉 13:30−15:30
塩尻市市民交流センター（えんぱーく）3階　多目的ホール
定員60名（先着順）
参加無料
講演会当日は、句集『抜辯天』の販売とサイン会があります。

PROFILE

間村　俊一（まむら　しゅんいち）｜　装幀家・俳人

1954年兵庫県生まれ。同志社大学文学部卒業。主な装幀作品に、『新校本宮澤賢治全集』『金子兜太集』（共に筑摩書房）、『新編中原中也全集』（角川書店）、『塚本邦雄全集』（ゆまに書房）など。2016年4月に刊行された『 本の寺子屋が地方を創る～塩尻市立図書館の挑戦～ 』（東洋出版）の装幀を担当した。

全国で展示会を開催するなど装幀家としての活動を精力的にこなすとともに、俳人としても活躍。

俳句は、学生時代洛中の書肆にて『定本加藤郁乎句集』，塚本邦雄著『百句燦燦』に出会い創作を開始。2007年に、第一句集『鶴の鬱』（角川書店），2014年には、第二句集『抜辯天』（角川学芸出版，第八回日本一行詩大賞受賞）を刊行した。他にも、鉛筆画集『ジョバンニ』（洋々社）など。

主　催	塩尻市・塩尻市教育委員会
企　画	長田　洋一（編集者・元河出書房新社『文藝』編集長）
顧　問	永井　伸和・山野　浩一・常世田　良
後　援	塩尻書店組合・長野県出版協会・長野県図書館協会・信州大学・松本大学・朝日新聞松本支局・信濃毎日新聞社・市民タイムス・中日新聞社・長野日報社・毎日新聞松本支局・松本平タウン情報・読売新聞長野支局・エルシーブイ㈱・テレビ松本ケーブルビジョン・abn長野朝日放送・NBS長野放送・NHK長野放送局・SBC信越放送・TSBテレビ信州・日本ハイコム㈱

お問い合わせ
お申し込み
塩尻市立図書館本館　塩尻市大門一番町12-2
Tel. 0263-53-3365　水曜休館

信州しおじり 本の寺子屋